

## 2 研究の実際

### (1) 学習状況調査の課題の整理

平成27年度佐賀県小・中学校学習状況調査〔4月調査〕及び〔12月調査〕Web報告書を基にして、特に課題が見られた設問を整理しました。

ア 平成27年度佐賀県小・中学校学習状況調査〔4月調査〕Web報告書より

小学5年生	出題の趣旨	関する問題 「活用」に	十分達成	おおむね達成	正答率(%)	無解答率(%)
	中心となる語を捉える		85	65	55.2	6.4
	文章に書かれている事実を捉える		85	65	50.7	3.2
	段落相互の関係を捉える		50	60	49.9	4.1

#### 【読むこと】

- ・説明的な文章では、中心となる語を捉える、文章に書かれている事実を捉える、段落相互の関係を捉える設問において、全て「おおむね達成」の基準を下回っています。

小学6年生	出題の趣旨	関する問題 「活用」に	十分達成	おおむね達成	正答率(%)	無解答率(%)
	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える		80	60	15.0	3.7
	目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く	○	70	50	27.6	2.8

#### 【書くこと】

- ・目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く設問では、正答率27.6で「おおむね達成」の基準50.0を22.4ポイント下回っており、複数の条件に合わせたり、新聞の様式で書いたりすることに課題が見られます。

イ 平成27年度佐賀県小・中学校学習状況調査〔12月調査〕Web報告書より

小学4年生	出題の趣旨	関する問題 「活用」に	十分達成	おおむね達成	正答率(%)	無解答率(%)
	メモを基に、書こうとすることの中心を明確にして記事を書く	○	70	50	36.6	3.4

#### 【書くこと】

- ・メモを基に、書こうとすることの中心を明確にして記事を書く設問では、新聞の様式に合わせて書くこと、メモから新聞記事へと書き換えることが十分ではなかったと考えられます。

小学5年生	出題の趣旨	「活用」に関する問題	十分達成	おおむね達成	正答率(%)	無解答率(%)
	構成の仕方や叙述を捉える		8.5	6.5	35.6	2.4
	内容を的確に捉え、要旨をまとめる		8.5	6.5	33.0	2.8
	文章の内容を的確に捉え、表現の仕方に合わせてまとめる		8.0	6.0	52.5	3.6

【読むこと】

- ・説明的な文章の設問では、表現の工夫についての理解が十分でなかったために、選択肢に示された工夫の一つ一つが、本文のどこに当たるのかを理解することができなかつたと考えられる。また、要旨を捉えることにも課題が見られます。

小学6年生	出題の趣旨	「活用」に関する問題	十分達成	おおむね達成	正答率(%)	無解答率(%)
	文章の内容を的確に押さえて要旨をまとめる		8.0	6.0	50.9	0.0

【読むこと】

- ・説明的な文章の設問では、文章全体を俯瞰的に読み、書かれている内容の大体を的確に押さえながら要旨を捉えることが十分にできていなかったと考えられます。

(2) 学習状況調査の課題についての分析及び考察

課題が見られた設問の出題の趣旨に沿って実態調査を行い、児童の解答の分析及び考察を行いました。

ア 小学校5年生 説明的な文章 (平成27年度佐賀県小・中学校学習状況調査 [4月調査])

大問4-

○設問の趣旨

中心となる語を捉える。

○学習指導要領における内容

〔第3学年及び第4学年〕

「読むこと」イ 目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

○評価の観点

読むこと

○解答類型

問題番号	解答類型	正答	反応率(%)
4- <input type="checkbox"/>	1 「特ちょう」と解答している。	◎	64.8
	2 「クワガタ(クワガタ虫)」と解答している。		22.7
	3 「つの」と解答している。		2.3
	4 「カブトムシ」と解答している。		2.3
	9 上記以外の解答 ・ひみつ、動物、からだ、はね		3.0
	0 無解答		4.9

○考察

キーワードを文章中から探すことができるかどうかを見る問題です。誤答を見ると、クワガタと解答しているものが最も多くなっています。クワガタの特徴が書かれた文章ではありますが、序論で「その特徴を調べてみましょう」と書かれており、本論で「まず、一つ目の特徴は…」、結論で「このように、クワガタムシのからだの特徴は…」と書かれています。出題の箇所は、本論の「次に、二つ目の  は、…」のところです。段落ごとに読むのではなく、文章全体を読んで、段落相互の関係を捉え、繰り返し使われている「特徴」というキーワードを探ることが大切です。このことから、説明的な文章の構成の特徴や段落相互の関係を捉えることに課題があると思われます。

大問4-二

○設問の趣旨

内容の大体を捉える。

○学習指導要領における内容

〔第3学年及び第4学年〕

「読むこと」イ 目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

○評価の観点

読むこと

○解答類型

問題番号	解答類型	正答	反応率(%)
4 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">二</span>	1 ウと解答している。	◎	56.4
	2 イと解答している。		16.3
	3 エと解答している。		14.4
	4 アと解答している。		9.1
	0 無解答		3.8

○考察

内容の大体を捉え、事実を正しく読むことができたかを見る問題です。正答のウ以外は、文章中に書かれている内容です。最も多い誤答のイは、一文の中に、3つの内容が書かれており、内容を正しく捉えられなかったのではないかと考えられます。また、エは、「カブトムシに比べると」という内容が含まれており、カブトムシが主語の文であると間違っ捉えたのではないかと考えられます。主語に対する述語を正しく捉え、事実を正しく読むことに課題があると思われます。

大問4-三

○設問の趣旨

段落相互の関係を捉える。

○学習指導要領における内容

〔第3学年及び第4学年〕

「読むこと」イ 目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

○評価の観点

読むこと

○解答類型

問題番号	解答類型	正答	反応率(%)
4 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">三</span>	1 エと解答している。	◎	52.6
	2 ウと解答している。		23.7
	3 イと解答している。		12.8
	4 アと解答している。		2.6
	0 無解答		8.3

## ○考察

段落相互の関係を捉え、文章全体の構成を理解できたかどうかを見る問題です。結論がどの段落なのかを問うていて、出題の表には、「終わりは、全体をまとめている」と示されています。最も多い誤答のウの⑨段落には、「このような生活を…」と書かれており、⑨段落は、⑦、⑧段落のまとめとなっています。「このように(な)」という言葉のはたらきや、その言葉が指す内容が正しく捉えられていなかったのだと考えられます。また、文章全体の構成を捉えるときに、段落の内容を正しく読み、段落相互の関係を捉えることができなかつたのではないかと考えられます。文章全体を俯瞰して読んだ上で、段落の役割（話題提示・問い・説明・結論等）を押さえた指導が必要であると考えられます。

イ 小学校5年生 説明的な文章（平成28年度佐賀県小・中学校学習状況調査〔4月調査〕）  
大問4-三

## ○設問の趣旨

文章の内容を踏まえ、様式に合わせてまとめる。

## ○学習指導要領における領域及び指導事項

〔第3学年及び第4学年〕

「読むこと」エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

## ○評価の観点

読むこと（活用問題）

## ○解答類型

問題番号	解答類型	正答	反応率(%)
3 三	（正答の条件） 涙の働きを問うクイズを、一文で書いているものを正答とする。 （正答例） なみだには、どのような働きがありますか。 なみだの働きを、2つ教えてください。 なみだは、どのような働きをもっていますか。 なみだは、どのような仕事をしていますか。		
1	正答の条件を満たしているもの	◎	42.9
2	クイズ形式で書くことはできているものの、涙の働きについて問うことができていないもの		31.4
3	クイズ形式で書くことができていないもの		11.4
0	無解答		14.3

## ○考察

文章の内容を捉え、クイズ形式に合わせてまとめる問題です。「微生物を流す働きや、微生物を殺す働きがある」という答えがあり、その答えに合うように文章中から必要な事柄を読み取りクイズを書くようになっていきます。児童は答えをヒントにして、文章を読み取る必要がありますが、それができていなかったと考えられます。キーワードを基に文章を読み取る力や様式に合わせてまとめる力に課題が見られました。したがって、文章に書かれている内容からキーワードを基にして必要な事柄を抽出することや、クイズや新聞の見出しなどの様式に合わせてまとめる指導を充実していく必要があると考えられます。

ウ **小学校6年生 説明的な文章**（平成27年度全国学力・学習状況調査〔4月調査〕B問題）  
 大問2-**二**

**○設問の趣旨**  
 目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることができるかどうかをみる。

**○学習指導要領における領域及び指導事項**  
 [第5学年及び第6学年]  
 「読むこと」ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要旨を捉えたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。  
 「書くこと」ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

**○評価の観点**  
 読むこと、書くこと（活用問題）

**○解答類型** 正答◎、準正答○

問題番号	解答類型	正答	反応率(%)
2	二 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【文章】の中の以下の内容を使って書いている。 a それぞれの人が自分で判断する b (希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、)たがいのことを考えながら折り合いをつけていく ② 書き出しの言葉に続けて、60字以上、100字以内で書いている。 (正答例) まずは自分で判断することです。そして、希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことです。		
1	条件①a、bの両方と、条件②を満たしているもの	◎	50.0
2	条件①a、②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの	○	17.0
3	条件①b、②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの	○	13.0
4	条件①a、bの両方を満たしているが、条件②は満たしていないもの。		7.0
5	条件①aは満たしているが、条件①b、②は満たしていないもの		1.0
6	条件①bは満たしているが、条件①a、②は満たしていないもの		1.0
9	上記以外の解答		2.0
0	無解答		0.0

**○考察**

文章の要旨は文章の構成を判断し筆者の主張に基づいて読むことで比較的容易に捉えることができます。文章の構成を捉える学習を習得している児童にとっては、筆者の主張を読み取ることには抵抗がなかったようです。しかし、要旨を捉えた後に、様式に合わせてまとめる力が不足していたためこのような結果になっています。したがって、「読むこと」と「書くこと」を関連付けて、様式に合わせてまとめることを意識した言語活動を仕組んでいく必要があると考えます。

### (3) 授業改善に必要なアイデア

前項にて、学習状況調査の課題について分析及び考察したことと、学習状況調査 Web 報告書の「改善のポイント」を参考にし、具体的に授業改善策を定めることにしました。

- ア 児童に見通しをもたせ、主体的な学びをつくること
- イ 単元を通して言語活動を位置付けて授業を行っていくこと
- ウ 自分の考えを広めたり深めたりさせる話し合いを授業に取り入れること
- エ 学びを自覚させる振り返りを取り入れること

### (4) 佐賀大学との連携

本研究では、授業改善に必要なアイデアをより効果的なものにするために、佐賀大学と連携しながら研究を進めることにしました。小学校国語科部会では、佐賀大学教育学部達富洋二教授の御助言を頂きながら研究を進めました。その中で、学習状況調査の結果に見られる課題の解決に向け、国語科の授業として大切なことは何かを考えながら研究を進めました。

研究を進める中で達富教授から御助言いただいた課題の解決に向けた授業改善策のポイントや、単元で力をつける小学校国語科の授業の在り方について、**3 授業改善のポイント** にまとめています。